

Pickles Framework 1.x ワークショップ

Pickles Framework 1.x ワークショップ

2012-10-21

目次

セットアップ手順.....	4
実行環境構築.....	4
Pickles Framework のセットアップ手順.....	4
パーミッション設定.....	5
表示を確認する.....	5
練習課題用レイアウト.....	6
ディレクトリ構成を確認.....	7
インストールディレクトリ(htdocs)以下の構成.....	7
コンフィグファイルを編集する.....	8
サイトマップを編集する.....	10
サイトマップの例.....	10
パンくずの整理.....	11
サイトマップ CSV の設置場所.....	12
サイトマップ CSV の定義.....	13
画面で表示を確認する.....	15
コンテンツを制作する.....	16
コンテンツがないページの表示.....	16
コンテンツファイルを作成する.....	17
コンテンツに HTML タグを書きこむ.....	18
コンテンツに画像を貼る.....	19
コンテンツに外部 CSS ファイルを適用する.....	20
head セクションにソースを送る.....	21
パブリッシュする.....	22
パブリッシュ実行手順.....	22

Pickles Framework 1.x ワークショップ

テーマを編集する.....	24
テーマの格納ディレクトリ.....	24
レイアウトって何?	24
テーマテンプレート編集で使う主な機能.....	25
ページ情報の出力.....	26
コンテンツのソースを出力する.....	27
リンクを生成する.....	28
サイトマップから、親ページのページ ID を取得する.....	29
サイトマップから、兄弟ページの一覧を取得する.....	29
サイトマップから、子ページの一覧を取得する.....	29
インクルードファイル(SSI)を埋め込む.....	31

セットアップ手順

実行環境構築

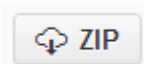
Pickles Framework は、次の環境で動作します。

- Apache+PHP5 が動作する環境
- mod_rewrite が有効で、.htaccess による設定の上書きができるよう Apache が設定されていること。
- PHP5 で mbstring が利用できること。

Pickles Framework のセットアップ手順

1. 最新のソース一式をダウンロードする。

<https://github.com/tomk79/PxFW-1.x> にある次のアイコンをクリック



2. ダウンロードした ZIP ファイルを解凍する。
3. htdocs に格納されたファイル一式を、お使いのウェブサーバーのドキュメントルート配下の任意のディレクトリにアップロードする。
4. ウェブブラウザからアクセスする。

x MacOS では、.htaccess がファインダーから確認できないので、ドラッグアンドドロップだけではアップロードできません。コマンドラインツールを使用するなどして、.htaccess の設定ごとアップロードするようにしてください。

パーミッション設定

次のディレクトリとそれ以下の全てのファイルに、Apache が書き込みできるパーミッションを設定する。

- `./_PX/_sys`
- `./_caches`

表示を確認する

ブラウザでアクセスして、次のような画面が表示されたら成功です。



練習課題用レイアウト

PONY

製品情報 | キャンペーン | 採用情報 | 会社概要

⇒デジタル一眼 ⇒デジタルビデオ ⇒プリンター ⇒スキャナー

⇒β99 ⇒α101 ⇒NEXT-7

ホーム > 製品情報 > デジタル一眼 > β99 > 仕様

■ H1要素

⇒特徴 ⇒デザイン ⇒仕様

コンテンツエリア

[↑ ページの先頭へ](#)

[>ホーム](#) [>お問い合わせ](#) [>サポート情報](#) [>サイトマップ](#)

Copyright (C)2012 PONY, All rights reserved.

ディレクトリ構成を確認

Pickles Framework のファイルとディレクトリの構成について記載します。@マークで始まる項目はディレクトリであることを示します。

このワークショップで特に使用する項目は赤文字で示しています。

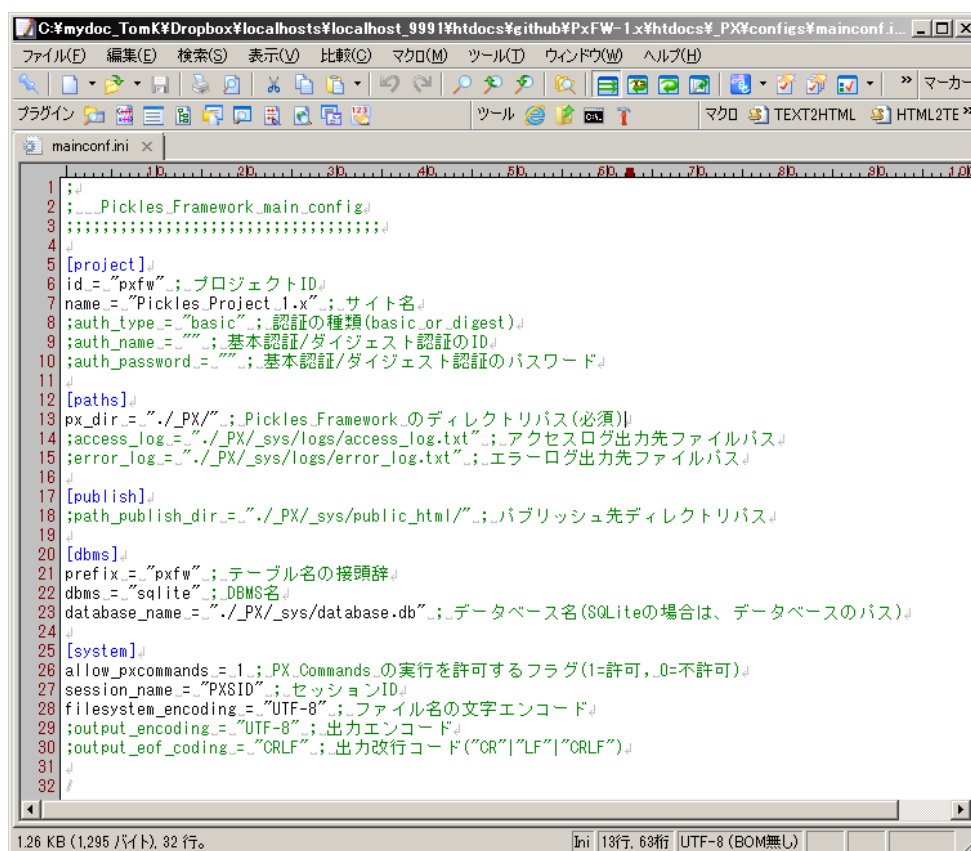
インストールディレクトリ(htdocs)以下の構成

- @_PX (Pickles Framework ディレクトリ)
 - @_FW (フレームワーク関連ライブラリ)
 - @_sys (システムが書き込む領域)
 - @publish (パブリッシュ先のディレクトリ)
 - @configs (設定ファイル格納ディレクトリ)
 - mainconf.ini (PxFW のメインコンフィグ)
 - sitemap_definition.csv (サイトマップ定義設定)
 - @sitemaps (サイトマップ CSV 格納ディレクトリ)
 - @datas (データ格納ディレクトリ)
 - @libs (ライブラリ格納ディレクトリ)
 - @themes (テーマコレクション格納ディレクトリ)
- @_caches (公開キャッシュディレクトリ)
 - @_contents (コンテンツに由来するキャッシュ)
 - @_themes (テーマに由来するキャッシュ)
- @common
- .htaccess (mod_rewrite 設定、など)
- _px_execute.php (Pickles Framework の実行ファイル)
- index.html (トップページのコンテンツ)

コンフィグファイルを編集する

コンフィグファイルは、次のパスに格納されています。

- ./_PX/configs/mainconf.ini



```
1 ;
2 ;...Pickles_Framework_main_config
3 ;
4 ;
5 [project]
6 id = "pxfw" ; プロジェクトID
7 name = "Pickles_Project_1.x" ; サイト名
8 ;auth_type = "basic" ; 認証の種類(basic_or_digest)
9 ;auth_name = "" ; 基本認証/ダイジェスト認証のID
10 ;auth_password = "" ; 基本認証/ダイジェスト認証のパスワード
11 ;
12 [paths]
13 px_dir = "./_PX/" ; Pickles_Framework_のディレクトリパス(必須)
14 ;access_log = "./_PX/_sys/logs/access_log.txt" ; アクセスログ出力先ファイルパス
15 ;error_log = "./_PX/_sys/logs/error_log.txt" ; エラーログ出力先ファイルパス
16 ;
17 [publish]
18 ;path_publish_dir = "./_PX/_sys/public_html/" ; パブリッシュ先ディレクトリパス
19 ;
20 [dbms]
21 prefix = "pxfw" ; テーブル名の接頭辞
22 dbms = "sqlite" ; DBMS名
23 database_name = "./_PX/_sys/database.db" ; データベース名(SQLiteの場合は、データベースのパス)
24 ;
25 [system]
26 allow_pxcommands = 1 ; _PX_Commands_の実行を許可するフラグ(1=許可, 0=不許可)
27 session_name = "PXSID" ; セッションID
28 filesystem_encoding = "UTF-8" ; ファイル名の文字エンコード
29 ;output_encoding = "UTF-8" ; 出力エンコード
30 ;output_eof_coding = "CRLF" ; 出力改行コード("CR"|"LF"|"CRLF")
31 ;
32 ;
```


Pickles Framework 1.x ワークショップ

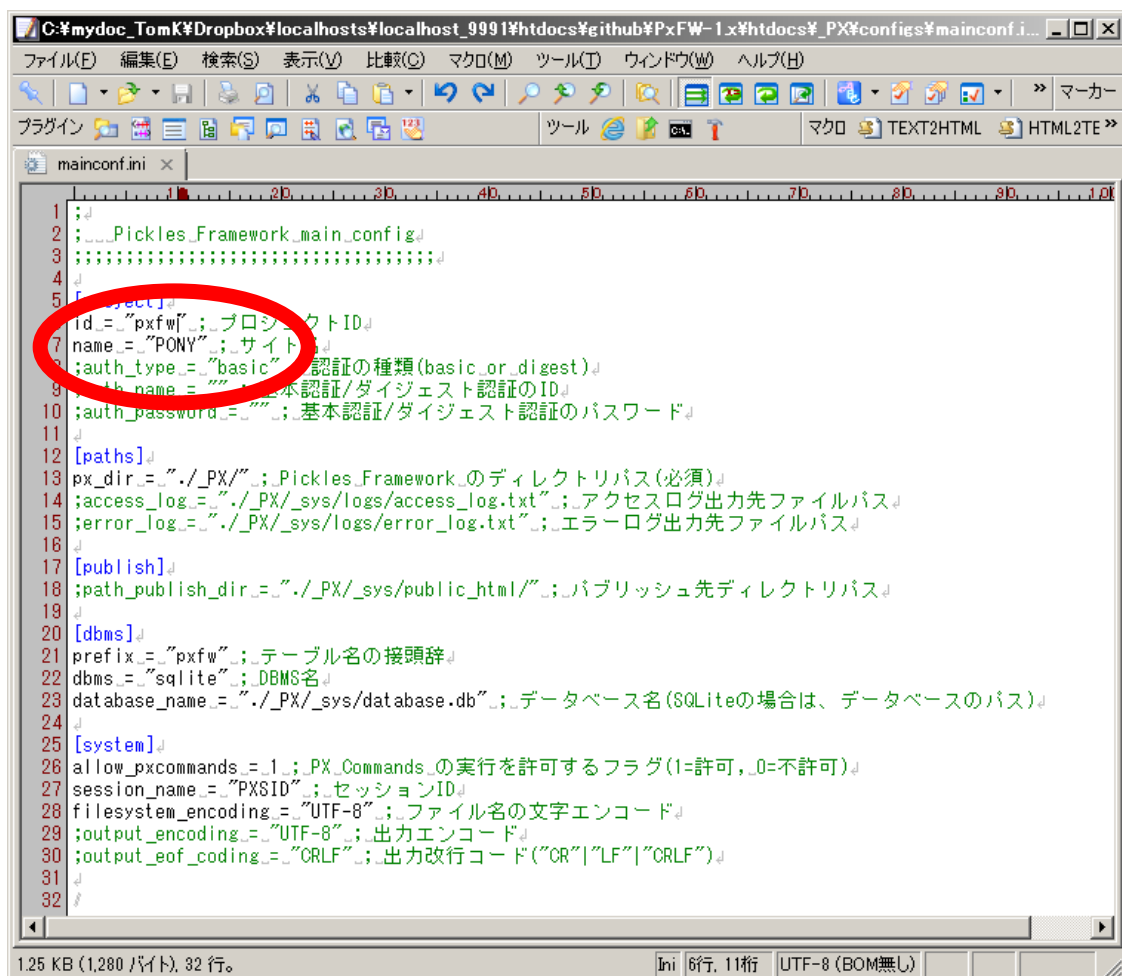
このファイルをテキストエディタで開き、次の項目を修正してください。

1. [project]>name

サイト名を書き換えます。

ここでは、「PONY」としてください。

今回のワークショップでは、変更点はこれだけです。



```
1 ;
2 ;...Pickles_Framework_main_config
3 ;::::::::::::::::::::::::::::::::::
4
5 [project]
6 id = "pxfw" ; プロジェクトID
7 name = "PONY" ; サイト名
8 auth_type = "basic" ; 認証の種類(basic_or_digest)
9 auth_name = "" ; 基本認証/ダイジェスト認証のID
10 auth_password = "" ; 基本認証/ダイジェスト認証のパスワード
11
12 [paths]
13 px_dir = "../PX/" ; Pickles_Framework_のディレクトリパス(必須)
14 access_log = "../PX/_sys/logs/access_log.txt" ; アクセスログ出力先ファイルパス
15 error_log = "../PX/_sys/logs/error_log.txt" ; エラーログ出力先ファイルパス
16
17 [publish]
18 path_publish_dir = "../PX/_sys/public_html/" ; パブリッシュ先ディレクトリパス
19
20 [dbms]
21 prefix = "pxfw" ; テーブル名の接頭辞
22 dbms = "sqlite" ; DBMS名
23 database_name = "../PX/_sys/database.db" ; データベース名(SQLiteの場合は、データベースのパス)
24
25 [system]
26 allow_pxcommands = 1 ; PX_Commands_の実行を許可するフラグ(1=許可, 0=不許可)
27 session_name = "PXSID" ; セッションID
28 filesystem_encoding = "UTF-8" ; ファイル名の文字エンコード
29 output_encoding = "UTF-8" ; 出力エンコード
30 output_eof_coding = "CRLF" ; 出力改行コード("CR"|"LF"|"CRLF")
31
32 ;
```

サイトマップを編集する

サイトマップの例

ページID	タイトル	パス	ステータス	ページID
	ホーム	/	FDX	
A1-1	製品情報	/products/	FDX	
A1-1-1	デジタル一眼カメラ	/products/camera/h99/	FDX	
A1-1-1-1	特徴	/products/camera/h99/features.html	FDX	
A1-1-1-2	デザイン	/products/camera/h99/design.html	FDX	
A1-1-1-3	仕様	/products/camera/h99/spec.html	FDX	
A1-1-2	α101	/products/camera/a101/	FDX	
A1-1-2-1	特徴	/products/camera/a101/features.html	FDX	
A1-1-2-2	デザイン	/products/camera/a101/design.html	FDX	
A1-1-2-3	仕様	/products/camera/a101/spec.html	FDX	
A1-1-3	NEXT-7	/products/camera/next-7/	FDX	
A1-1-3-1	特徴	/products/camera/next-7/features.html	FDX	
A1-1-3-2	デザイン	/products/camera/next-7/design.html	FDX	
A1-1-3-3	仕様	/products/camera/next-7/spec.html	FDX	
A1-2	デジタルビデオカメラ	/products/videocamera/	FDX	
A1-2-1	β99	/products/videocamera/b99/	FDX	
A1-2-2	α101	/products/videocamera/a101/	FDX	
A1-2-3	NEXT-7	/products/videocamera/next-7/	FDX	
A1-3	プリンター	/products/printer/	FDX	
A1-3-1	β99	/products/printer/b99/	FDX	
A1-3-2	α101	/products/printer/a101/	FDX	
A1-3-3	NEXT-7	/products/printer/next-7/	FDX	
A1-4	スキャナー	/products/scanner/	FDX	
A1-4-1	β99	/products/scanner/b99/	FDX	
A1-4-2	α101	/products/scanner/a101/	FDX	
A1-4-3	NEXT-7	/products/scanner/next-7/	FDX	
A1-5	ゲーム	/products/game/	FDX	
A1-5-1	β99	/products/game/b99/	FDX	
A1-5-2	α101	/products/game/a101/	FDX	
A1-5-3	NEXT-7	/products/game/next-7/	FDX	
A1-6	PC	/products/pc/	FDX	
A1-6-1	β99	/products/pc/b99/	FDX	
A1-6-2	α101	/products/pc/a101/	FDX	
A1-6-3	NEXT-7	/products/pc/next-7/	FDX	
A1-7	スマートフォン	/products/smartphones/	FDX	
A1-7-1	β99	/products/smartphones/b99/	FDX	
A1-7-2	α101	/products/smartphones/a101/	FDX	
A1-7-3	NEXT-7	/products/smartphones/next-7/	FDX	
A2	キャンペーン	/campaign/	FDX	
A2-1	キャンペーンA	/campaign/campaign-a/	FDX	
A2-2	キャンペーンB	/campaign/campaign-b/	FDX	
A2-3	キャンペーンC	/campaign/campaign-c/	FDX	
A2-4	キャンペーンD	/campaign/campaign-d/	FDX	
A3	採用情報	/recruit/	FDX	
A3-1	人事制度	/recruit/join.html	FDX	
A3-2	経験者採用	/recruit/experience.html	FDX	
A3-3	新卒採用	/recruit/graduate.html	FDX	
A3-4	グループ採用情報	/recruit/group.html	FDX	
A4	会社概要	/corporate/	FDX	
A4-1	組織図	/corporate/organization.html	FDX	
A4-2	役員一覧	/corporate/officer.html	FDX	
A4-3	沿革	/corporate/history.html	FDX	
A4-4	主要事業所・地図	/corporate/maps.html	FDX	
A4-5	ニュースリリース	/corporate/newsrelease/	FDX	
A4-6	関連会社一覧	/corporate/group.html	FDX	
B1	お問い合わせ	/inquiry/	FDX	
B2	サポート情報	/support/	FDX	
B3	サイトマップ	/sitemap/	FDX	

サイトマップ作成時の注意点：

- ホーム(トップページ)のページ ID は空白としてください。

パンくずの整理

パンくず欄は、親ページまでの階層を、“>”区切りで指定します。

パンくず欄に記載のないページは、ホームの直下とみなされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	O	P
1	PONYウェブサイト サイトマップ									
2										
3	v20121001									
4										
5										
6	ページID	タイトル					パス		表示	PxFW パンくず
7		ホーム					/		1	
8	A1	製品情報					/products/		1	
9	A1-1	デジタル一眼レフカメラ					/products/camera/		1	A1
10	A1-1-1	β 99					/products/camera/b99/		1	A1>A1-1
11	A1-1-1-1	特徴					/products/camera/b99/featurea.html		1	A1>A1-1>A1-1-1
12	A1-1-1-2	デザイン					/products/camera/b99/design.html		1	A1>A1-1>A1-1-1
13	A1-1-1-3	仕様					/products/camera/b99/spec.html		1	A1>A1-1>A1-1-1
14	A1-1-2	α 101					/products/camera/a101/		1	A1>A1-1
15	A1-1-2-1	特徴					/products/camera/a101/featurea.html		1	A1>A1-1>A1-1-2
16	A1-1-2-2	デザイン					/products/camera/a101/design.html		1	A1>A1-1>A1-1-2
17	A1-1-2-3	仕様					/products/camera/a101/spec.html		1	A1>A1-1>A1-1-2
18	A1-1-3	NEXT-7					/products/camera/next-7/		1	A1>A1-1
19	A1-1-3-1	特徴					/products/camera/next-7/featurea.html		1	A1>A1-1>A1-1-3
20	A1-1-3-2	デザイン					/products/camera/next-7/design.html		1	A1>A1-1>A1-1-3
21	A1-1-3-3	仕様					/products/camera/next-7/spec.html		1	A1>A1-1>A1-1-3
22	A1-2	デジタルビデオカメラ					/products/videocamera/		1	A1
23	A1-2-1	β 99					/products/videocamera/b99/		1	A1>A1-2
24	A1-2-2	α 101					/products/videocamera/a101/		1	A1>A1-2

サイトマップ CSV の設置場所

作成したサイトマップを、サイトマップ CSV に反映します。

サイトマップ CSV は下記の階層に設置されています。

- `./_PX/sitemaps/sitemap.csv`

注意点：

- この CSV は、OpenOffice.org の Calc を使用して、文字セット UTF-8 で保存してください。PHP5 では、エクセルで加工した CSV を読み込むことができません。

サイトマップ CSV の定義

キー	意味
path	ページのパス
content	コンテンツファイルの格納先
id	ページID
title	ページタイトル
title_breadcrumb	ページタイトル(パン屑表示用)
title_h1	ページタイトル(H1表示用)
title_label	ページタイトル(リンク表示用)
logical_path	論理構造上のパス
list_flg	一覧表示フラグ
authlevel	アクセス権限レベル
layout	レイアウト
extension	拡張子名
orderby	表示順
keywords	metaキーワード
description	metaディスクリプション
category_top_flg	カテゴリトップフラグ

この定義に合わせて、サイトマップから CSV にデータをコピーしていきます。

Pickles Framework 1.x ワークショップ

コピーしていくと、このようなCSV ファイルになります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	path	content	id	title	title	title	logical_path	list_flg	auth	layout	exten	order	keywords	description	category_top_flg		
2	/products/		A1	ホーム					1				ダミー キーワード 1	このページはXXXX、ダミーディスクリプション1			
3	/products/camera/		A1-1	製品情報					1				ダミー キーワード 2	このページはXXXX、ダミーディスクリプション2			
4	/products/camera/b99/		A1-1-1	デジタル一眼レフカメラ			A1		1				ダミー キーワード 3	このページはXXXX、ダミーディスクリプション3			
5	/products/camera/b99/		A1-1-1	β99			A1>A1-1		1				ダミー キーワード 4	このページはXXXX、ダミーディスクリプション4			
6	/products/camera/b99/featurea.html		A1-1-1-1	特徴			A1>A1-1>A1-1-1		1				ダミー キーワード 5	このページはXXXX、ダミーディスクリプション5			
7	/products/camera/b99/design.html		A1-1-1-2	デザイン			A1>A1-1>A1-1-1		1				ダミー キーワード 6	このページはXXXX、ダミーディスクリプション6			
8	/products/camera/b99/spec.html		A1-1-1-3	仕様			A1>A1-1>A1-1-1		1				ダミー キーワード 7	このページはXXXX、ダミーディスクリプション7			
9	/products/camera/a101/		A1-1-2	α101			A1>A1-1		1				ダミー キーワード 8	このページはXXXX、ダミーディスクリプション8			
10	/products/camera/a101/featurea.html		A1-1-2-1	特徴			A1>A1-1>A1-1-2		1				ダミー キーワード 9	このページはXXXX、ダミーディスクリプション9			
11	/products/camera/a101/design.html		A1-1-2-2	デザイン			A1>A1-1>A1-1-2		1				ダミー キーワード 10	このページはXXXX、ダミーディスクリプション10			
12	/products/camera/a101/spec.html		A1-1-2-3	仕様			A1>A1-1>A1-1-2		1				ダミー キーワード 11	このページはXXXX、ダミーディスクリプション11			
13	/products/camera/next-7/		A1-1-3	NEXT-7			A1>A1-1		1				ダミー キーワード 12	このページはXXXX、ダミーディスクリプション12			
14	/products/camera/next-7/featurea.html		A1-1-3-1	特徴			A1>A1-1>A1-1-3		1				ダミー キーワード 13	このページはXXXX、ダミーディスクリプション13			
15	/products/camera/next-7/design.html		A1-1-3-2	デザイン			A1>A1-1>A1-1-3		1				ダミー キーワード 14	このページはXXXX、ダミーディスクリプション14			
16	/products/camera/next-7/spec.html		A1-1-3-3	仕様			A1>A1-1>A1-1-3		1				ダミー キーワード 15	このページはXXXX、ダミーディスクリプション15			
17	/products/ videocamera/		A1-2	デジタルビデオカメラ			A1		1				ダミー キーワード 16	このページはXXXX、ダミーディスクリプション16			
18	/products/ videocamera/b99/		A1-2-1	β99			A1>A1-2		1				ダミー キーワード 17	このページはXXXX、ダミーディスクリプション17			
19	/products/ videocamera/a101/		A1-2-2	α101			A1>A1-2		1				ダミー キーワード 18	このページはXXXX、ダミーディスクリプション18			
20	/products/ videocamera/next-7/		A1-2-3	NEXT-7			A1>A1-2		1				ダミー キーワード 19	このページはXXXX、ダミーディスクリプション19			
21	/products/ printer/		A1-3	プリンター			A1		1				ダミー キーワード 20	このページはXXXX、ダミーディスクリプション20			
22	/products/ printer/b99/		A1-3-1	β99			A1>A1-3		1				ダミー キーワード 21	このページはXXXX、ダミーディスクリプション21			
23	/products/ printer/a101/		A1-3-2	α101			A1>A1-3		1				ダミー キーワード 22	このページはXXXX、ダミーディスクリプション22			
24	/products/ printer/next-7/		A1-3-3	NEXT-7			A1>A1-3		1				ダミー キーワード 23	このページはXXXX、ダミーディスクリプション23			
25	/products/ scanner/		A1-4	スキャナー			A1		1				ダミー キーワード 24	このページはXXXX、ダミーディスクリプション24			
26	/products/ scanner/b99/		A1-4-1	β99			A1>A1-4		1				ダミー キーワード 25	このページはXXXX、ダミーディスクリプション25			
27	/products/ scanner/a101/		A1-4-2	α101			A1>A1-4		1				ダミー キーワード 26	このページはXXXX、ダミーディスクリプション26			
28	/products/ scanner/next-7/		A1-4-3	NEXT-7			A1>A1-4		1				ダミー キーワード 27	このページはXXXX、ダミーディスクリプション27			
29	/products/ game/		A1-5	ゲーム			A1		1				ダミー キーワード 28	このページはXXXX、ダミーディスクリプション28			
30	/products/ game/b99/		A1-5-1	β99			A1>A1-5		1				ダミー キーワード 29	このページはXXXX、ダミーディスクリプション29			
31	/products/ game/a101/		A1-5-2	α101			A1>A1-5		1				ダミー キーワード 30	このページはXXXX、ダミーディスクリプション30			
32	/products/ game/next-7/		A1-5-3	NEXT-7			A1>A1-5		1				ダミー キーワード 31	このページはXXXX、ダミーディスクリプション31			

コピーする項目(黄色で着色した列)は次の通りです。

1. path(A 列) パス
2. id(C 列) ページ ID
3. title(D 列) ページタイトル
4. logical_path(H 列) パンくず
5. list_flg(I 列) 一覧表示フラグ
6. keywords(N 列) メタタグ・キーワード
7. description(O 列) メタタグ・ディスクリプション

画面で表示を確認する

この段階で、ブラウザで PxFW にアクセスすると、次のような表示になっているはずです。



タイトル、ページ名、ローカルナビ、パンくず が、それぞれサイトマップ CSV から自動的に生成されます。

コンテンツを制作する

例として、製品情報ページ(/products/) にコンテンツを実装してみます。

コンテンツがないページの表示

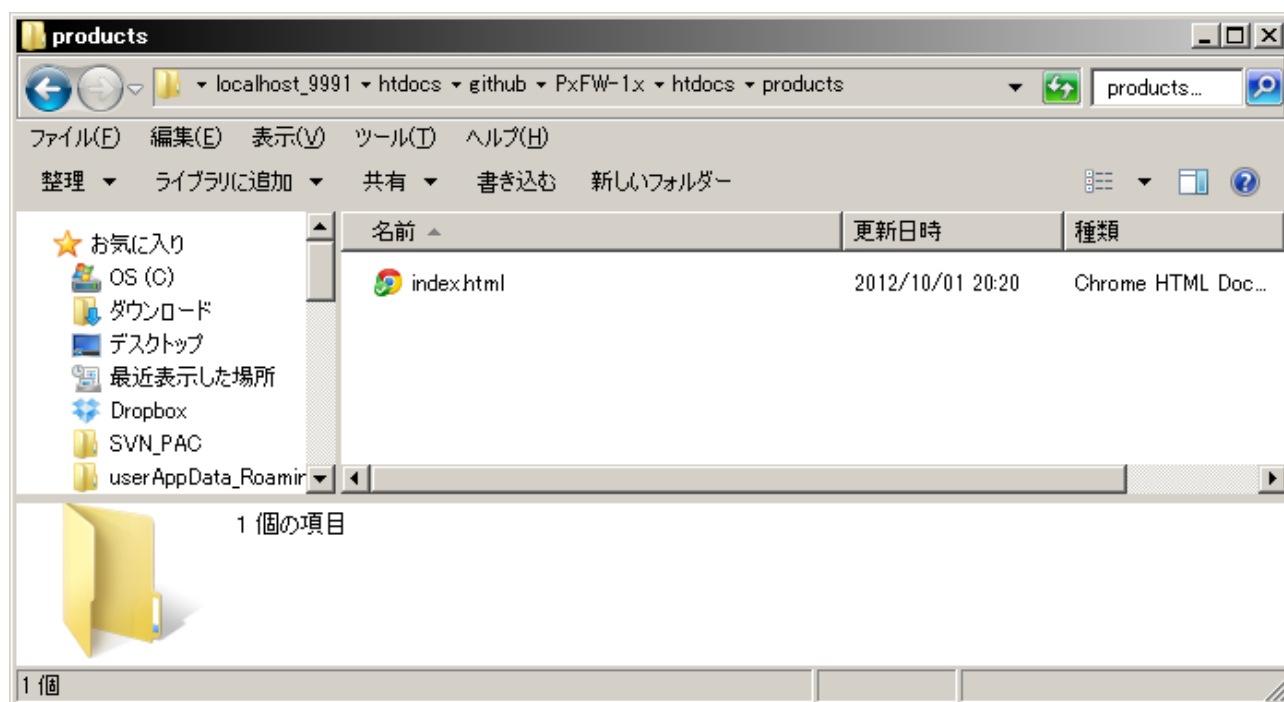
コンテンツが作成される前の画面は、次のように、「Content file is not found.」というメッセージが表示された状態。この反応は、コンテンツファイルが物理的に存在しない場合に起こります。



コンテンツファイルを作成する

コンテンツファイルを作成してみます。

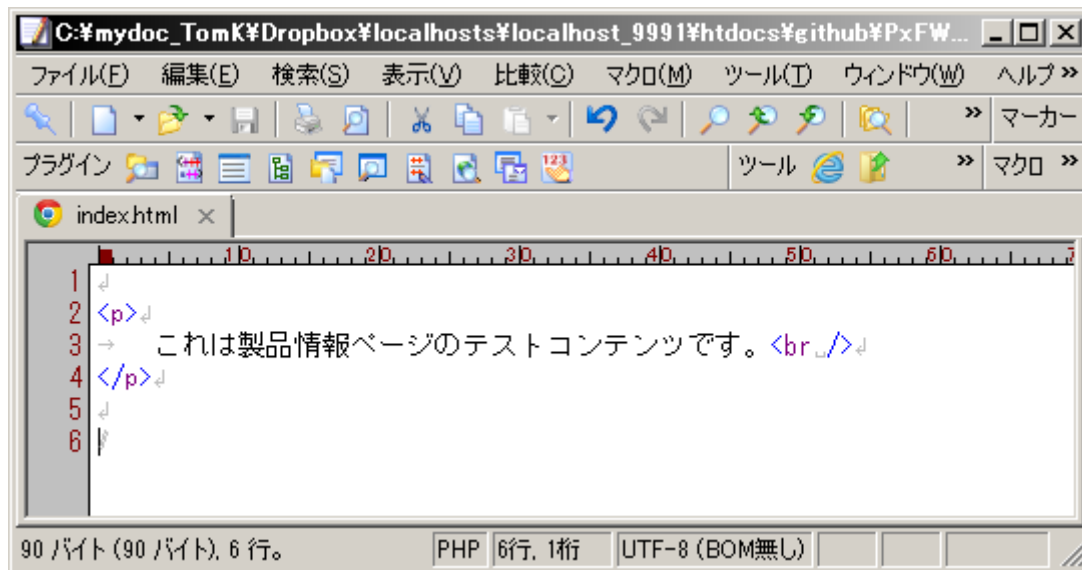
製品情報ページは、/products/ ですから、/products/index.html というファイルを作成してください。



コンテンツに HTML タグを書きこむ

コンテンツには、コンテンツエリアのみの HTML を書きます。

ただし、文字セットを UTF-8(BOM なし)で作成するようにしてください。

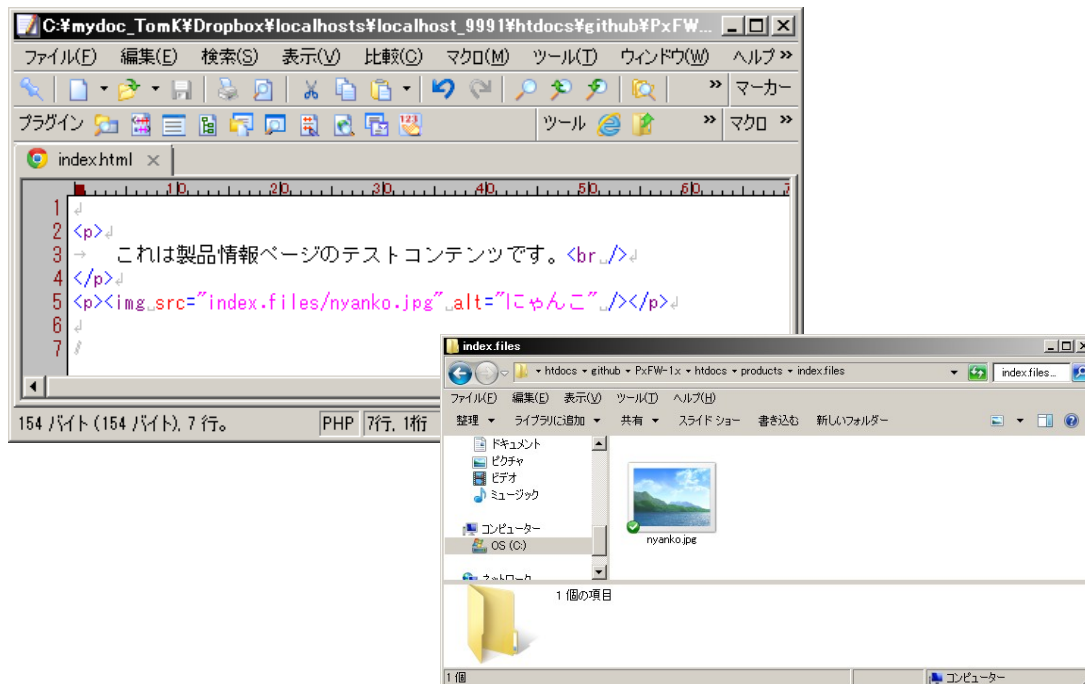


表示は次のようになります。



コンテンツに画像を貼る

画像ファイルをコンテンツに貼りつけるのは、普通の HTML と同じルールで貼り付けます。



画像ファイルは、/products/index.files/nyanko.jpg に格納しました。
表示は次のようになります。

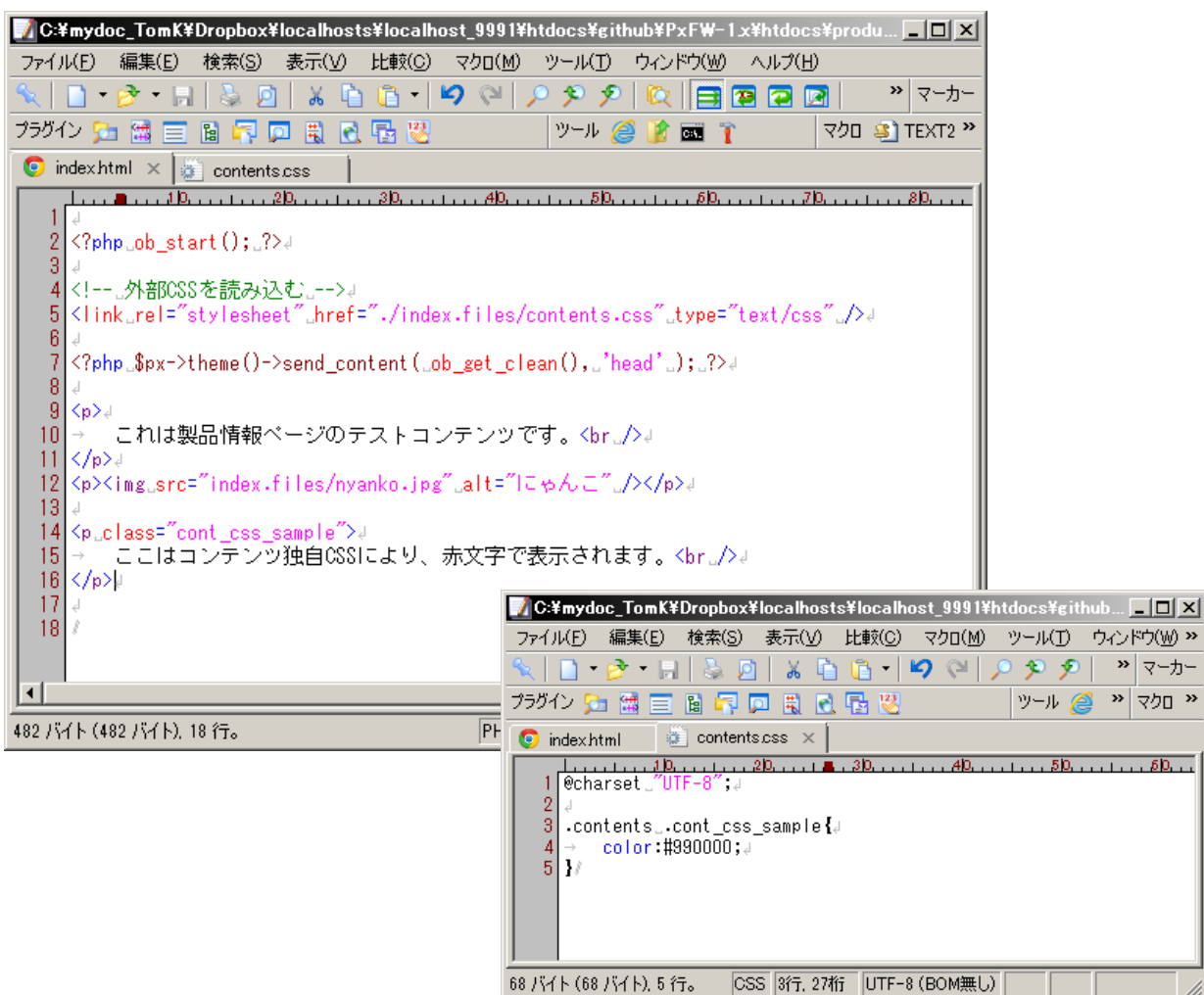


コンテンツに外部 CSS ファイルを適用する

外部 CSS のよみこみは、head セクション内に link タグを記述する必要があります。

PxFW のコンテンツはコンテンツエリア内のソースしか記述しないため、head セクションにソースを書くために、特殊なコードを記述します。

例では、外部のスタイルシートを /products/index.files/contents.css に格納しました。



head セクションにソースを送る

この記述は、head セクションにソースを送るための記述です。外部 CSS のよみこみだけではなく、style タグで直接 CSS を書くこともできるし、JavaScript の記述も同じ要領で行うことができます。

```
<?php ob_start(); ?>
```

```
<!-- 外部 CSS を読み込む -->
```

```
<link rel="stylesheet" href="/index.files/contents.css" type="text/css" />
```

```
<?php $px->theme()->send_content( ob_get_clean(), 'head' ); ?>
```

パブリッシュする

テーマの編集は一旦後回しにして、、、一度ここでパブリッシュをしてみます。

パブリッシュは、Pickles Framework 上に構築されたウェブサイトを静的な HTML ファイル群に書き出すための手順です。この手順により生成された HTML は、PHP やフレームワークの環境を必要とせず、一般的なウェブサーバーがあれば公開できる状態です。

パブリッシュ実行手順

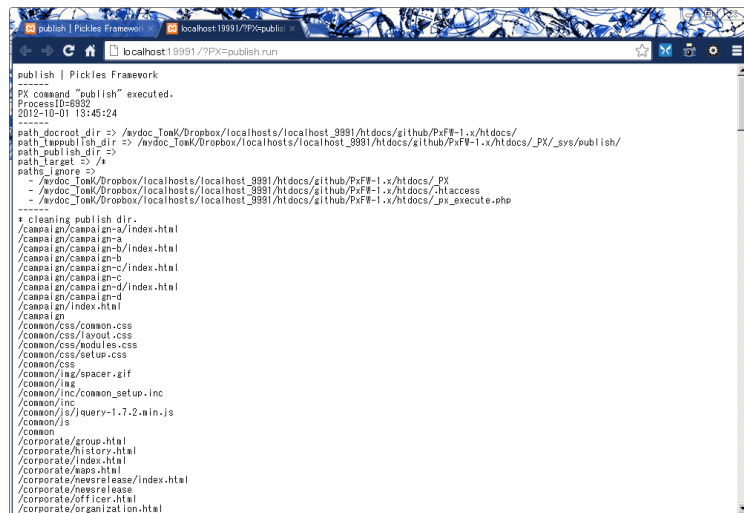
次の手順でパブリッシュを実行します。

1. Pickles Framework の任意のパスに、URL パラメータ `?PX=publish` を付加してアクセスする。



2. 「パブリッシュを実行する」ボタンを押す。
3. パブリッシュを実行する画面が表示されるので、終了するまで待つ。

Pickles Framework 1.x ワークショップ



```
publish | Pickles Framework
-----
PX command "publish" executed.
ProcessID=8932
2012-10-01 13:45:24
-----
path_root_dir => /wydoc_TomK/Dropbox/localhosts/localhost_9991/htdocs/github/PxFW-1.x/htdocs/
path_publish_dir => /wydoc_TomK/Dropbox/localhosts/localhost_9991/htdocs/github/PxFW-1.x/htdocs/_PX/_sys/publish/
path_target => /*
path_ignore =>
- /wydoc_TomK/Dropbox/localhosts/localhost_9991/htdocs/github/PxFW-1.x/htdocs/_PX
- /wydoc_TomK/Dropbox/localhosts/localhost_9991/htdocs/github/PxFW-1.x/htdocs/_htaccess
- /wydoc_TomK/Dropbox/localhosts/localhost_9991/htdocs/github/PxFW-1.x/htdocs/_px_execute.php
-----
# cleaning publish dir.
/campaign/campaign-a/index.html
/campaign/campaign-a
/campaign/campaign-b/index.html
/campaign/campaign-b
/campaign/campaign-c/index.html
/campaign/campaign-c
/campaign/campaign-d/index.html
/campaign/campaign-d
/campaign/index.html
/campaign
/common/css/common.css
/common/css/layout.css
/common/css/modules.css
/common/css/setup.css
/common/css
/common/img/spacer.gif
/common/img
/common/inc/common_setup.inc
/common/inc
/common/js/jquery-1.7.2.min.js
/common/js
/common
/corporate/group.html
/corporate/history.html
/corporate/index.html
/corporate/news.html
/corporate/newsrelease/index.html
/corporate/newsrelease
/corporate/officer.html
/corporate/organization.html
```

4. パブリッシュが終了すると、./_PX/_sys/publish/htdocs/ に書き出されたファイルが設置されている。

テーマを編集する

ここから先は、主にエンジニアが取り扱う内容になります。

テーマの格納ディレクトリ

テーマは、次のディレクトリに格納されています。

- `./_PX/themes/{$テーマ名}/{レイアウト名}.html`

ここでは、`{$テーマ名}`は `default` を編集します。

レイアウトって何？

テーマは、複数のテンプレートを定義することができる。これはレイアウトと呼ばれ、サイトマップの layout にレイアウト名を指定することによって切り替えられる。デフォルトのレイアウトは `default` である。

初期状態では、**default**(標準レイアウト)、**plain**(<body>の直下にコンテンツエリアを配したレイアウト)、**popup**(ポップアップウィンドウ用レイアウト)、**naked**(コンテンツエリアのみが出力されるレイアウト)が定義されているが、任意に増やすことができる。

このワークショップでは、`default` レイアウトを編集します。

というわけで、編集するファイルは次のファイルになります。

- `./_PX/themes/default/default.html`

テーマテンプレート編集で使う主な機能

テーマは、サイトのデザインによって実装が大きく異なります。

ここでは、テーマテンプレートの実装に当たってよく使う主な機能(関数)をご紹介します。

ページ情報の出力

ページ情報とは、サイトマップ CSV に登録した 1 行分の情報のことです。

次の手続きで、ページのすべての情報にアクセスできます。

例えばページタイトルの出力は下記です。

```
<?php
    $page_info = $this->px->site()->get_current_page_info();
    print t::h($page_info['title']);
?>
```

次の例は、メタタグのキーワード、ディスクリプションを出力しています。

```
<?php
    $page_info = $this->px->site()->get_current_page_info();
?>
<meta name="keywords" content="<?php print t::h($page_info['keywords']); ?>" />
<meta name="description" content="<?php print t::h($page_info['description']); ?>" />
```

※t::h() は、htmlspecialchars() のショートカットです。

コンテンツのソースを出力する

次の例のように、関数\$px->theme()->pull_content()で出力できます。

```
<!doctype html>
<html>
<head>
<title>sample</title>
<?php
    print $px->theme()->pull_content('head');
?>
</head>
<body>
<div id="content" class="contents">
<?php
    print $px->theme()->pull_content();
?>
</div>
</body>
</html>
```

\$px->theme()->pull_content() の第 1 引数に、コンテンツから送られてきたときの名前を指定して引き出します。省略すると、メインのコンテンツエリアのソースが得られます。

リンクを生成する

```
<?php
    print $px->theme()->mk_link({$パスまたはページ ID});
?>
```

`$px->theme()->mk_link()` は、第 1 引数に受け取ったページ(パスかページ ID で指定)へのリンクを自動生成する関数です。ラベルはサイトマップから自動的に取得して反映します。

また、カレントページへのリンクを自動的に判断し、`class="current"` を付加する機能も含まれています。

次の例は、`href` 属性部分だけを返す関数を使用しています。

```
<a href="<?php print t::h($px->theme()->href({$パスまたはページ ID}));?>">モジュール集</a>
```

`$px->theme()->href()` は、`mk_link()`と同様、第 1 引数にページのパスまたはページ ID を受け取り、リンク先のパスとして返す関数です。特に `a` タグにカスタマイズを施す場合には `href()` を使用した方が便利かもしれません。

サイトマップから、親ページのページ ID を取得する

```
<?php

$page_id = $px->site()->get_parent({$自分のパスまたはページ ID});

print '<div>'.$px->theme()->mk_link($page_id).'</div>'. cant n";

?>
```

サイトマップから、兄弟ページの一覧を取得する

```
<?php

$bro = $px->site()->get_bros({$自分のパスまたはページ ID});

print '<ul>'. cant n";

foreach( $bro as $row ){

    print '<li>'.$px->theme()->mk_link($row).'</li>'. cant n";

}

print '</ul>'. cant n";

?>
```

サイトマップから、子ページの一覧を取得する

```
<?php

$children = $px->site()->get_children({$自分のパスまたはページ ID});

print '<ul>'. cant n";

foreach( $children as $row ){

    print '<li>'.$px->theme()->mk_link($row).'</li>'. cant n";

}
```

Pickles Framework 1.x ワークショップ

```
print '</ul>'.format(n);
```

```
?>
```

これらの関数を通じて、サイトマップからサイト構造を示す情報を取り出し、サイトのナビゲーション構造を制御するために使用します。

インクルードファイル(SSI)を埋め込む

通常の Apache の機能で動作する SSI タグを埋め込むことができます。開発時にはインクルードされた状態で表示されますが、パブリッシュ時には SSI タグの状態で出力されます。

```
<?php
    print $px->ssi('/common/inc/sample.inc');
?>
```